# インドネシアでの環境ユースサミット

伊東　菜々美（浦安市立日の出中学校３年）

私がこのサミットに応募したきっかけは、「海外に行ってみたい」「海外の人と交流してみたい」と思ったからで、環境に対して何か考えがあるわけではありませんでした。だから、発表原稿を書くのには苦労しました。ちょうど原稿作りの日程が学校テストとかぶってしまったこともあり、投げ出したくなったことも一度ではありませんでした。

そんな中、準備に追われてバタバタしているうちにいよいよサミット本番を迎えてしまいました。色々なことを考えては不安になったりしましたが、ユースのみんなと会った時にその不安は少し解消しました。スカイプで顔を知っていたというのもあるけれど、なによりもみんなが話しやすく、優しい人たちだったからです。日本のユースのみんなと出会えただけでも私にとってユースサミットは思い出になりました。

文化交流やプレゼンは将来に生かすことのできる良い経験となりました。交流は主にインドネシアのユースと行いました。その中でコミュニケーションを取ることの難しさを感じました。今まで英語が母国語である人とは話したことがあるけれど、お互いが第二言語というのは初めてでした。そのとき、独特のイントネーションがあって聞き取りづらく感じることがありました。そこでアクセントの大切さを初めてちゃんと知りました。今まではあまり重視していませんでしたが、アクセント次第で違う言葉にもなると実感したからです。また、海外の人の積極性を強く感じました。自分から物事に取り組んでいたし、日本人なら遠慮してしまったり、恥ずかしがったりしてやらないようなこともどんどんやっていたからです。私も、もっと自分の思っていることを発信したり、興味を持ったことをどんどんやっていったりしようと思います。

プレゼンテーションは１回目の練習が一番緊張しました。でも、だんだんと慣れていくことができたので、本番ではそこまで緊張はしませんでした。パソコンの操作の関係で、人よりたくさん本番に近い練習が出来たことも理由の一つだと思います。その中で、話すスピードや抑揚の加減を学びました。また、この経験のおかげで自分にとってのこれから改善していくべき課題も見つけることができました。

このサミットで見て、感じて、学んだことや見つけた課題を忘れずに、これからに活かしていけるようにこれからも頑張っていきたいと思います。本当に濃い 9 日間をありがとうございました!!!